

平成23年度 活動の報告と決算

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴い、平成23年度は被災地への職員の派遣はもとより、秋田県内および被災地での活動を希望するボランティアの受付等、震災の直後から多くの支援に取り組みました。

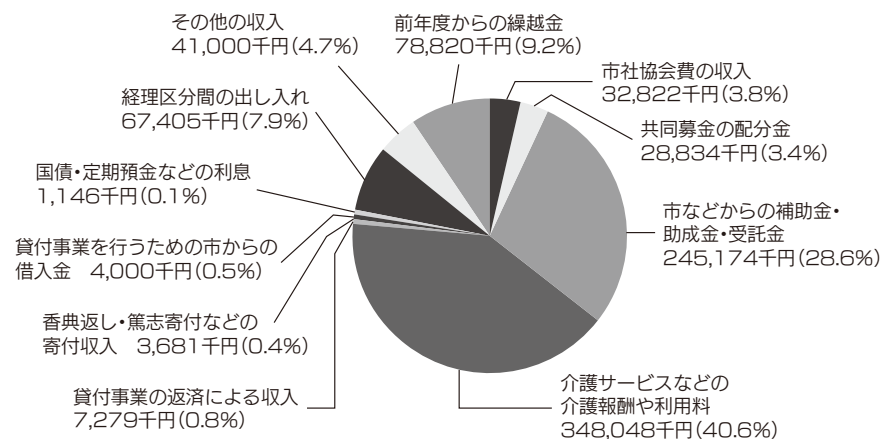
秋田市の敬老会補助事業の見直しおよび地区社会福祉協議会における敬老会の諸問題や今後の方向性を検討することを目的として「敬老会検討委員会」を開催し、その結果を各地区社協へ報告しました。また、本会の健全運営と理事・評議員選任の明瞭化、時代の要請にあった組織強化について、「役員および評議員選任のあり方検討委員会」において継続審議を願っております。さらに、「救急医療情報キット(安心キット)事業」の円滑な運営等を図ることを目的として「合同推進委員会」を開催しました。

「地域支え合い体制づくり支援車両等貸出事業」(秋田市くらしの安心サポート推進事業)の実施に先立ち、リフト付き普通乗用車等の貸出用品を購入するほか、過疎地等での高齢者の買い物などに関する意見交流会を開催し、現状の把握に努めました。

平成23年度 一般会計資金収支決算

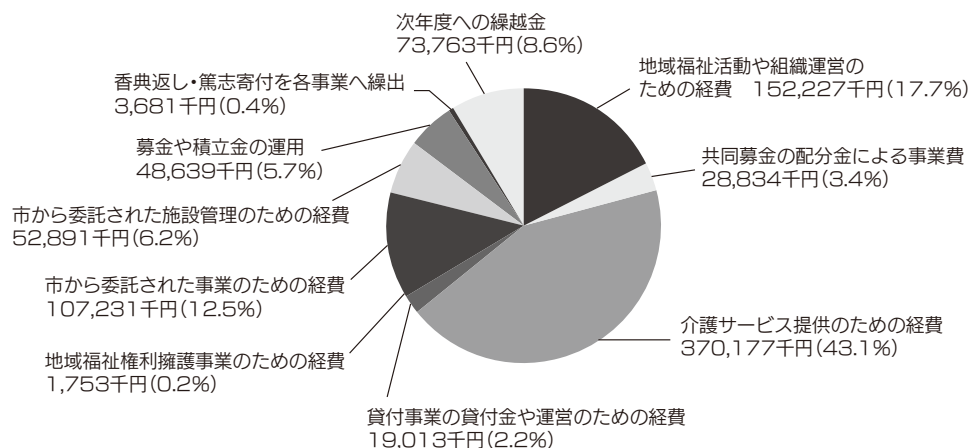
平成23年度 一般会計資金収支決算 収入の部

収入総額
858,209千円



平成23年度 一般会計資金収支決算 支出の部

支出総額
858,209千円



◎事業報告書および決算書については、本会のホームページに掲載しているほか、本会窓口でも閲覧できます。



■大船渡市社協災害ボランティアセンターへの職員派遣



■平成23年度秋田市社会福祉大会(文化会館)



■救急医療情報キット(安心キット)合同推進委員会



■除雪支援

平成24年度 事業計画

平成24年度は、地区社会福祉協議会、地区民生児童委員協議会をはじめとして町内会長、福祉協力員等との連携を強化しながら、地域で生活される方にとって安心や支えとなりうるように、「誰もが安心して暮らせるまちづくりをみんなの手で」の実現に向けて、主に次のことに取り組んでまいります。

見守りネットワーク事業

各地区社協、地区民児協との連携を図るなかで、地区内の見守りが必要な高齢者世帯等への見守り・声かけ活動や安否確認等をおこない、地域住民とのつながりを強化し、孤立を予防します。

地域元気アップ事業

地域の高齢者が健康で生き生きとした生活が送れるように介護予防の推進や、自宅への閉じこもりを防ぐために気軽に集える地域サロンなどをおこないます。

救急医療情報キット事業(安心キット事業)

高齢者や障がい者などの安全・安心の確保のため、『かかりつけ医』や『持病』などの医療情報を専用の容器に入れ、自宅冷蔵庫に保管しておくことで、万一の救急時に備えます。

10月1日から 介護支援ボランティア制度が始まります。

65歳以上のかたが介護支援のためのボランティア活動を通して社会参加や地域貢献をすることで、高齢者自身の介護予防の推進と、生き生きとした地域社会づくりを目的とした制度です。

各受入機関(介護保険施設等)で特定のボランティア活動をして集めたスタンプをポイントに換えると、1年間で最大5,000円の交付金が受けられます。

対象となる方は、市内にお住まいの65歳以上(秋田市介護保険第1号被保険者)のうち要介護認定を受けていない方で、ボランティア活動ができる健康で体力のある方です。

なお、活動をおこなうためには、介護支援ボランティア登録講習会を受講し、制度の目的やボランティアの心得など充分ご理解したうえで登録していただく必要があります。

詳しくは、地域福祉課 介護支援ボランティア担当へお問い合わせください。 TEL.862-7445

地域支え合い体制づくり支援車両等貸出事業

(秋田市くらしの安心サポート推進事業)

地域住民と連携して地域福祉活動の中心となっている地区社協や町内会やボランティア団体に対して、外出支援を目的として車いすのまま乗降できる軽移送車やゴミ出しなどに使用するための軽トラック、除雪機・発電機などの機器を貸出することにより、地域での支え合う体制づくりを支援します。

ふれあいさん派遣事業

急なケガ・病気等の時や産前産後などの世帯に『ふれあいさん』を派遣して、短期間・単発で生活を支援します。

生活福祉資金貸付事業

低所得世帯・障がい者世帯、高齢者世帯などに対して、生活資金、修学資金等の貸付の相談に応じます。

また、東日本大震災に被災されて秋田市に住んでいる方の相談にも応じます。

脳の健康教室



65歳以上のかた(要支援・要介護認定を受けているかたは除きます。)を対象に、無料で河辺市民センターと八橋の老人福祉センターを会場に、週1回30分程度で実施しています。

東北大学の川島教授の研究成果を応用した教室です。簡単な読み・書き・計算で、脳をいきいきさせ、認知症予防を目的としています。



週1回の教室でお仲間との楽しい会話と学習が楽しめます。

河辺教室は毎週水曜日午後、八橋教室は毎週金曜日に、午前の部・午後の部をそれぞれ開催しています。学習を希望される方はお気軽にご連絡ください。

秋田市地域包括支援センター 脳の健康教室担当
TEL.862-8114

知っておきたい 福祉情報

ケアマネジャー

Q.ケアマネジャーって何をする人？

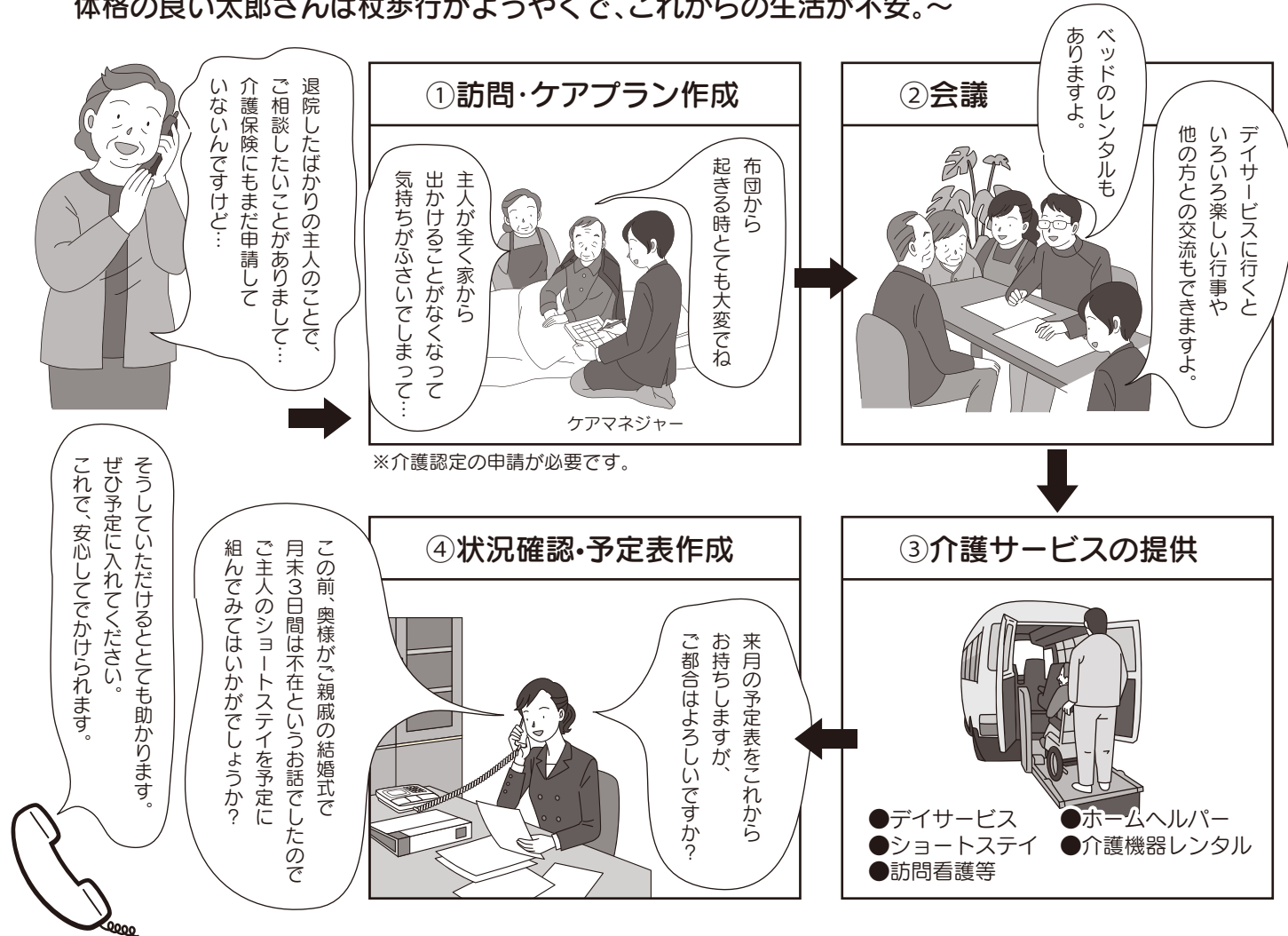
高齢者の方などが介護が必要な状態になった時、必要な介護サービスを利用するなど自立した日常生活を営むことができるよう次のことを支援いたします。

- 介護認定申請・更新の代行
- 1ヶ月の利用票と利用料の提示
- ケアプランの作成と評価
- 実際に利用したサービスの給付管理と手続き
- サービス事業所との連絡調整
- ご本人やご家族からの要望等の聞きとりや相談

正式名称は介護支援専門員。略称「ケアマネ」。介護保険法に基づく資格です。

Q.ケアマネの具体的な仕事は？

～夫婦二人のご家族。入院していた秋田太郎さんが退院。奥さんもちょうと体調不良で、体格の良い太郎さんは杖歩行がようやくで、これからの生活が不安。～



ケアマネさんの利用でご本人の利用料の負担はありません。
ケアマネジャーの事業所が「居宅介護支援事業所」。お気軽にご相談ください。

◎ご相談は最寄の居宅介護支援事業所へ

◎秋田市社会福祉協議会は……居宅介護支援秋田事業所 TEL.883-1468 FAX.883-1467
居宅介護支援河辺事業所 TEL.881-1203 FAX.882-3467

地区社協トピックス

秋田市地区社会福祉協議会連絡会

総会および研修会

▶石巻市内にてガイドさんによる説明を受けている様子



市内38地区社協で組織する秋田市地区社会福祉協議会連絡会では、震災から1年が経過したことから、6月29日、30日に宮城県石巻市へ足を運びました。石巻市社協や現地の方から被災当時の様子やこれまでの復興状況について説明を受け、バスで市内を視察しました。

市街地は津波の被害があったとは思えないほどまで復興が進んでいましたが、海に近い地域では、多くのがれきや骨組みだけの建物などがそのまま残されており、被害の甚大さを感じられました。大変中身の濃い研修となり、この経験を地元で活かせるよう準備していきたいとの意見が多く聞かれました。

地区社協

いつまでも元気かつひらの集い

▶勝平コミセンにて児童と生徒がお手伝いしている様子



「みんなの福祉をみんなの手で」を合い言葉に、世代を超え地域の絆を深めようと5月26日、勝平コミセンを会場に「いつまでも元気かつひらの集い」が開催されました。

地域の高齢者100名以上が出席のもと、勝平小学校・勝平中学校の児童と生徒による校歌の合唱で幕を開け、「チーム風の子」による踊りで盛り上がりました。

その後、児童と生徒が一人ひとりにお弁当を手渡していました。参加者はお弁当に箸を運ばせながら近所の話に花が咲き、笑顔のあふれる楽しい集いとなりました。

秋田市共同募金会からのお知らせ



●赤い羽根共同募金 赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました!!

募金活動に多大なお力添えをいただいた、市内各地区共同募金会、町内会、学校、事業所、各種団体の皆様にあらためて心からお礼を申し上げます。

赤い羽根共同募金

秋田市共同募金会 会長 藤澤 浩

平成23年度 赤い羽根共同募金実績……46,813,925円

皆様からいただいた寄付金は、社会福祉協議会が行う地域福祉活動事業や、福祉施設の整備、福祉団体や各地区での福祉活動などに配分されています。

※くわしくは赤い羽根データベース「はねっと」をごらんください。

<http://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>



●東日本大震災義援金

引き続き東日本大震災の義援金を受付しております。ご協力お願い致します。

平成24年7月10日現在義援金実績……25,618,393円

義援金は秋田県共同募金会を通じて中央共同募金会へ送られ、日本赤十字社等に寄せられた義援金と合わせて全額被災された各県へと配分されています。

受付時間：平成24年9月30日(日)までの平日
午前8時30分～午後5時15分

受付場所：秋田市共同募金会(秋田市社会福祉協議会内)
秋田市八橋南一丁目8-2 TEL.862-7445

市社協特別会員・団体会員を募集しています。

秋田市社会福祉協議会では「誰もが安心して暮らせるまちづくりをみんなの手で」を基本方針として、市民の皆様の福祉の充実のため活動しております。つきましては、本会の活動や事業にご賛同いただける特別会員・団体会員を募集しておりますので、何とぞご協力いただきたくお願い申し上げます。なお、いただいた会費につきましては、地域福祉を推進するための様々な活動に役立てさせていただきます。

会員の区別		会費(年額)	
特別会員	個人	一口	1,000円
	社会福祉事業施設、団体	一口	2,000円
団体会員	企業・法人	一口	10,000円

※お申し込み・お問い合わせ先
秋田市社会福祉協議会 総務管理課 TEL 862-7445

秋田市社会福祉協議会団体会員(企業・法人)として、地域福祉を
応援していただいている皆様をご紹介します。

【企業・法人の団体会員】(順不同、敬称略)

株式会社かんきょう	清三屋商事株式会社	株式会社雄和振興公社
株式会社菅生商店	伊藤工業株式会社	株式会社小田島アクティ
秋田県石油商業協同組合	有限会社工藤平版印刷	株式会社とみや秋田営業所
第一石炭株式会社	澤田石晶税理士事務所	(有)池田看板
株式会社フロム・エー	株式会社アキタ電子システムズ	有限会社県庁食堂
秋田印刷製本株式会社	株式会社ファイル・アキタ	株式会社みどり光学社
秋田マシンサービス株式会社	秋田トンボ株式会社	日立キャピタルオートリース(株)
協和物産	有限会社伊藤整備工場	東北支店盛岡営業所
株式会社河辺清掃社	株式会社高尾自動車整備工場	株式会社こすもす秋田
(有)秋田三京	オートショップ神居	
株式会社くまがい印刷	(有)金圓	

(平成24年6月30日現在、31社よりご協力いただいております。なお、社名掲載については、ご承認いただいた企業・団体のみを掲載させていただきました。)

お知らせ

平成24年度 秋田市社会福祉大会

【日程】平成24年10月29日(月) 午後1時30分～午後4時10分

【会場】秋田市文化会館(大ホール)

【内容】講 演……………特定非営利活動法人 横手ひらかNPOセンター
理事長 千 田 謙 蔵 氏

入場
無料

申込不要 アトラクション……『やまばと太鼓』

地区へのまごころ

平成23年11月1日～平成24年5月31日

地区社会福祉協議会へ お寄せいただいた善意のご紹介です。

香典返し

〔中 通 地 区〕	菅原晟	〔外 旭 川 地 区〕	佐藤登・鎌田武志
〔築 山 地 区〕	熊倉康典・鎌田良子・石川朝子	〔四ツ小屋・御野地区〕	加賀谷悦郎・佐々木勉
〔旭 北 地 区〕	平裕・釈迦堂光明寺	〔上 北 手 地 区〕	鎌田繁雄・菊地道之・山影善和・熊谷勝・菊地忠 手塚孝志
〔八 橋 地 区〕	金尚志	〔下 北 手 地 区〕	田口善一
〔川 尻 地 区〕	高橋勝・横田頼子・中山正和 佐藤久雄・杉山重利・船木周司 石川嘉悦・阿部光夫・跡藤幸代・佐藤弘	〔桜 小 地 区〕	長谷川ハルエ
〔牛 島 地 区〕	大門進・島峰之・藤井松喜	〔上 新 城 地 区〕	齋藤米子
〔東 地 区〕	高山和子・加藤洋子・桜井美代	〔下 新 城 地 区〕	中川薫清・中川忠孝・鎌田隆
〔土 崎 地 区〕	渡邊清明・斎藤八太郎	〔河 辺 地 区〕	金慶一
〔将 軍 野 地 区〕	柏崎建逸	〔雄 和 地 区〕	池田正夫・佐藤三男・石井誠・黒崎隆一・福原友明 嘉藤一司・堀井一豊・池田孝輝・佐藤藤美・角田久雄 齊藤良行・渡辺和文・齊藤悦郎・金富雄・高橋寿樹 鎌田一男・鎌田陸郎・伊藤道雄・永澤正伸・浅野栄一 牧野容子・伊藤隆榮
〔新 屋 地 区〕	森川磨・佐々木ヨキ		
〔新屋勝平地区〕	鎌田通子・三浦節子		
〔豊 岩 地 区〕	五十嵐一弥		
〔下 浜 地 区〕	浜崎忠勝・佐藤鈴雄・柴田敏征・佐々木信一		

篤志寄付

〔明德地区〕 赤坂英将 〔牛島地区〕 平澤健治 〔新屋勝平地区〕 伊藤梅子 〔雄和地区〕 嘉藤多吉郎・川添婦人会

市社協へのまごころ

平成23年12月9日～平成24年7月17日

秋田市社協へ お寄せいただいた善意のご紹介です。

香典返し

渡邊重雄・菅原英一・中山正和・山口優・塚田育秀
桜井美代・須藤智明

物品寄付

河辺地区民生児童委員一同・(株)くまがい印刷・本田けい
寺内小学区社会福祉協議会・あいおいニッセイ同和
損害保険(株)MS & ADゆにぞんスマイルクラブ
(財)秋田市総合振興公社・ピップ(株)・高橋タカノ

篤志寄付

秋田市PTA連合会・(株)ホクシンエレクトロニクス
サンパル秋田まつり実行委員会・佐藤アヤ子・佐藤ミサ
協和石油(株)・秋田市市民市場・恵たまえ
秋田市立川尻小学校昭和31年卒業同期生古希を祝う会
秋田アトリオンビル(株)・渡部キヨ子・まごころサービス
高橋秀明・下山きみよ・(財)秋田市体育協会



■仮設のみなさまと一緒に

慰問ボランティア桜雅会は、「歌と踊りの宅急便」として宮城県の宮城野地区と名取市の二カ所の仮設住宅を訪れ、歌や踊りなどを披露し、住民のみなさまに元気を運びました。
桜雅会代表の筒井雅子さんは、「仮設のみなさまから逆に元気をもらってきました」と被災地に行ってよかったと感激して帰ってきました。



秋田市体育協会で開催しているチャリティゴルフの収益により寄付をいただきました。
毎年いただいております。今年で21回目となります。ありがとうございます。